

科目名	デジタルマーケティングⅡA						学期	前期	
担当教員	未定	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	InstagramやLINE等のSNSマーケティングの基礎や活用事例を学びながら、実際にSNSマーケティング発信を実践する								
授業内容	SNSマーケティングの基本的な仕組みの学習から始め、ケーススタディを通じて、企業における新規顧客獲得のためのSNSマーケティング業務に必要とされる知識と運用方法を学ぶ。								
学習目標	SNSマーケティングの運用担当者となることを想定し、実践的な技術習得を目指す。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション(授業目的・全体像の理解)								
2	チームビルディング・役割分担								
3	デジタルマーケティング概論								
4	SNSマーケティング基礎(Instagramの特徴)								
5	企業・業界リサーチ								
6	ターゲット・ペルソナ設計								
7	ヒアリング準備(質問設計)								
8	企業ヒアリング								
9	ヒアリング内容整理・課題抽出								
10	課題設定と仮説構築								
11	SNS施策アイデア発想								
12	施策設計(目的・KPI設定)								
13	中間発表準備								
14	中間発表								
15	前期まとめ・後期への接続								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係者との調整により授業内容が変更・前後することがあります								

科目名	Speak Out IIIA						学期	前期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Course Orientation and Self-Introduction / ガイダンス・自己紹介								
2	Dreams and Goals / 夢と目標								
3	Describing Your Routine / 日課について								
4	Discussing World Culture / 世界の文化について								
5	Expressing Your Opinions / 自分の意見を述べる								
6	Comparisons and Observations / 比較と観察								
7	Rules and Regulations / 規則と決まり								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Previous Experiences / これまでの経験								
10	Describing the Past / 過去の出来事について								
11	Your Current Self / 今の自分								
12	Expressing Choice and Preferences / 選択と好みの表現								
13	Conditions and Time / 条件と時間								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	Speak Out ⅢB						学期	後 期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Vacation Memories and Review / 休暇の思い出と復習								
2	Social Media and Technology / SNSとテクノロジー								
3	Music and Emotions / 音楽と感情								
4	Personality Quiz and Dealing With Problems / 性格診断と問題解決								
5	Superlatives and Being the Best / 最上級の表現と「一番」について								
6	Extremes and Phobias / 極限状態と恐怖症								
7	Travelling / 旅行								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Debating Rules / 規則についてのディベート								
10	Thinking Positively / ポジティブ思考								
11	Life Changes / 生活の変化								
12	Expressing Opinions / 意見の表明								
13	Giving a Review / レビュー・講評								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation IIIA						学期	前期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Course Orientation and Self-Introduction / ガイダンス・自己紹介								
2	Your Role Model / 尊敬する人物								
3	Your Favorite Cuisine / お気に入りの料理・食文化								
4	Your Future / 自分の将来について								
5	Your Choice / 自分の選択								
6	Your Most Memorable Place / 最も思い出深い場所								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テストの準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your Opinions on Social Issues / 社会問題に対する自分の意見								
10	Your Home / 私の地元・故郷								
11	Your Data Collection Survey (1) - Implementation / データ収集調査(1) - 実査・アンケート実施								
12	Your Data Collection Survey (2) - Data Processing / データ収集調査(2) - データ集計・分析								
13	Your Data Collection Survey (3) - Presentation / データ収集調査(3) - 発表・プレゼン								
14	Review for the Final Examination / 期末試験の復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation ⅢB						学期	後 期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Presentation Design and Skills (1) / プレゼンテーションの構成と話し方								
2	Presentation Design and Skills (2) / プレゼンテーションの構成と話し方								
3	Your App Recommendation (1) / おすすめアプリの紹介								
4	Your App Recommendation (2) / おすすめアプリの紹介								
5	Your Ideal Superpower (1) / 理想の超能力								
6	Your Ideal Superpower (2) / 理想の超能力								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テスト準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your World Problem Views (1) / 世界の問題に対するあなたの考え								
10	Your World Problem Views (2) / 世界の問題に対するあなたの考え								
11	Your Life Changes (1) / あなたの人生の変化								
12	Your Life Changes (2) / あなたの人生の変化								
13	Presentation Design and Skills (3) // プレゼンテーションの構成と話し方								
14	Review for the Final Examination / 期末試験の復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	オンライン国際協働学習 IIIA						学期	前 期	
担当教員	大石 和 / LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	①異文化理解 ②英語コミュニケーション力向上								
授業内容	海外の学生と、共通のテーマで課題解決を実施し、企画案をプレゼンテーションする（英語使用）								
学習目標	国際交流の場で英語で相手の話を理解できる。自分の考えを海外の学生に伝えることができる。海外の学生の異なる視点や考えを知る。								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	イントロダクション:国際交流準備								
2	試食会・強み洗い出し								
3	With the World ① 富山の魅力発信								
4	強み分析・マーケットトレンド調査								
5	インタビュー活動準備・練習・振り返り								
6	With the World ② インタビュー活動								
7	インタビュー活動振り返り								
8	企業向けに商品提案作成								
9	With the World ③ 第一回 提案づくり発表								
10	アイデア提案 ローカライズ・訴求力								
11	With the World ④ 第二回 提案づくり発表								
12	商品提案にもとづいたブラッシュアップ								
13	最終提案プレゼン準備・練習・振り返り								
14	With the World⑤ 企業への最終プレゼンテーション								
15	学習振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによる発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	プレゼンテーション I A						学期	前 期	
担当教員	島田美沙	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	グラフィックレコーディングに関する知識とスキルを実践的に学習。表現、要約、図解、レイアウトのスキルを身につけ、「わかりやすく伝える資料の作り方」を学びます。								
授業内容	グラフィックレコーディングの基本を身に付けながら、PowerPointやCanvaを使用して学校の特徴や魅力を紹介資料を作成し、発表する。								
学習目標	グラフィックレコーディングを通して可視化するメリットを理解する。PowerPointやCanvaを使って、情報を的確に整理・要約、わかりやすく表現することができる。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	基礎編①グラフィックレコーディングとは、初級講座①								
2	基礎編②グラフィックレコーディングの効用、初期講座②								
3	基礎編③グラフィックレコーディングの心得&要約のポイント、初期講座③								
4	基礎編④記事をグラレコする								
5	PowerPoint編①使い方を学ぶ								
6	PowerPoint編②グラレコした記事（講義4回目）をPowerPointで作ろう								
7	PowerPoint編③自己紹介スライドを作る								
8	PowerPoint編④自己紹介スライドの発表								
9	Canva編①使い方を学ぶ・名刺を作る								
10	Canva編②広告を作る								
11	実践編①学校紹介、掲載内容についての意見交換								
12	実践編②掲載内容の詳細決定、情報収集								
13	実践編③仮レイアウト作成								
14	実践編④発表資料の製作								
15	完成した学校紹介の発表、振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率・積極的なコミュニケーションが出来る。						
	3. テストその他	40 %	発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	プレゼンテーション I B						学期	後	期
担当教員	秋本 美衣	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	自己紹介、あいさつ、発声、司会進行、プレゼンテーション等のコミュニケーションの基本を身につける								
授業内容	「伝え方を学ぶ」発声方法、抑揚、順序、相手に合わせた話し方など								
学習目標	テーマに沿った目的を理解した上で、基本的な手法を使いながら、人前で実際に表現することができる。								
使用テキスト	スライド使用								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション～人前で話すとは～								
2	基礎講座～話し方・聴き方～								
3	基礎講座～伝わる話し方基本の発声法								
4	基礎講座～伝わる話し方ニュース編～								
5	実践編～自己PRをプレゼンしよう！（自己分析・他己分析）～								
6	実践編～スライドの作成～								
7	自己PR発表①								
8	自己PR発表②								
9	VTR分析・振り返り①								
10	VTR分析・振り返り②								
11	実践編～スライドの改善・作成～								
12	自己PR発表①								
13	自己PR発表②								
14	VTR分析・振り返り①								
15	VTR分析・振り返り②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	リサーチ・コミュニケーションⅡA(ファシリテーション)						学期	前期	
担当教員	水越 進一	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	多様な立場からの意見を引き出し、整理し、意見交換や合意形成を進行するファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける								
授業内容	本授業では、毎授業でのロールプレイングを軸に、ファシリテーションに重要な基礎となる準備する能力、場を作る能力、聞く能力を養う。さらに授業後半では、実際に想定されるケース演習や外部での実習を通して、応用力を身につけ即戦力の人材を養う。								
学習目標	下準備ができるようになり「段取り」の達人になる。多様な意見をまとめ「交通整理」のプロになる。誰もが発言しやすい「場を温める」名人になる。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	導入: 講師紹介、オリエンテーション なぜ今、ファシリテーションなのか								
2	ファシリテーションの3つの要 — 準備・聞く・場を作る								
3	【準備編①】論点(アジェンダ)の設計と目的の共有								
4	【準備編②】人間関係の事前マッピングと「根回し」								
5	【場を作る①】心理的安全性とトーンの演出								
6	【場を作る②】参加者の集中力とコミットメントを高める								
7	【聞く力①】要約(サマライズ)の技術								
8	【聞く力②】観点マネジメントとポジティブ・リスニング								
9	【実践編①】アナログ・マッピング								
10	【実践編②】対立(コンフリクト)のハンドリング								
11	【実践編③】時間の管理と介入のタイミング								
12	ケーススタディ演習(社内会議・合意形成・トラブル対応)								
13	外部実習								
14	ファシリテーターのキャリアと自己研鑽								
15	総括: 授業の振り返りと今後の活用法のディスカッション								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	本授業は外部機関との連携(各学校、市役所など)を伴うため、スケジュールに変更が生じる場合がある。調整は担当教員および関係者が行う。								

科目名	リサーチメソッド I A						学期	前 期	
担当教員	三宅 可倫(15コマ) 升方 芳美(15コマ)	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	アンケート調査を中心としたデータ収集における適切な手続きを学び、地域課題やビジネス課題発見にも役立てていけるリサーチ手法の基本を身につける。								
授業内容	身近な自分事のテーマを題材に、アンケートを実施し、現状を見える化・構造化し、解決策を見出すという、データ活用による課題解決の一連のプロセスを実践する。								
学習目標	目的に合ったアンケートを作成し、適切に実施し、分析結果から提案をつくることができる。								
使用テキスト	授業時に配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	課題解決のためのリサーチとアンケート調査	【事前】	なし						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
2	問いをたてる: 取り組むテーマを見つける	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
3	テーマを自分事にする	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
4	仮説づくり: 課題にかかわる要素の関連をイメージする	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
5	調査デザイン: 対象者設定、スケジュール、予算確認、調査倫理確認	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
6	質問項目の作成	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
7	質問文と回答選択肢、回答欄の作成①	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
8	質問紙のレイアウト、個人情報取り扱いの考え方、調査依頼	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
9	アンケート実施と単純集計	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
10	クロス集計とテキストマイニング基礎	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
11	集計結果の分析①	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
12	提案資料づくり①	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
13	提案資料づくり②	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
14	提案発表とフィードバック	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
15	学習の振り返り、まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく						
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題	40 %	課題・提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	テスト、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	リサーチメソッド I B					学期	後 期		
担当教員	蔵田 直美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティングに必要なリサーチスキルとして、定量分析の基本である数値の扱いや統計の基本的な考え方を理解する。売上管理データを素材に、エクセルを使用したデータ分析・グラフ作成力を身につける。								
授業内容	実際の企業の売上データを扱い、各種定量分析の考え方と技法を学習する。成果物として、分析結果をふまえた販売促進案を企業へ提案する。								
学習目標	マーケティングの目的に合った数量データの収集ができる。クロス集計や相関分析など統計の考え方を理解した上でデータ分析を実践できる。分析結果はグラフや表を用いて可視化できる。分析結果をふまえた提案ができる。								
使用テキスト	授業時に配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	数量データで捉える「差」や「変化」					【事前】	なし		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
2	課題選定と仮説検証					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
3	オープンデータの活用①RESASの扱い方					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
4	オープンデータの活用②RESASによる実態把握					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
5	オープンデータの活用③RESASを活用した仮説づくり					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
6	オープンデータの活用④ネットリサーチの基本					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
7	オープンデータの活用⑤ネットリサーチ実践					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
8	オープンデータの活用⑥ネットリサーチ実践					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
9	データにもとづく販促提案づくり①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
10	データにもとづく販促提案づくり②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
11	提案資料作成①					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
12	提案資料作成②					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
13	提案発表とフィードバック					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
14	フィードバックをうけての修正					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
15	学習の振り返り、まとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	リサーチメソッドⅡA						学期	前 期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	意識調査実践: テキストマイニング分析を活用し、人々の意識を可視化する手法を身につける								
授業内容	Google Formsアンケート調査やネットアンケートを材料に、人々の生活意識や商品やサービスへの関心を収集・分析する方法を学ぶ。								
学習目標	質的データを収集、分析し、結果から得られた消費者のニーズや課題感を提案に反映させることができる。								
使用テキスト	授業時に適宜配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	企業課題に関連した定性調査					【事前】	なし		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
2	定性調査実践 アンケート設計					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
3	定性調査実践 アンケート設計					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
4	定性調査実践 アンケート作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
5	定性調査実践 アンケート作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
6	定性調査実践 アンケート作成 予備実施					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
7	定性調査実践 アンケート作成 修正					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
8	定性調査実践 アンケート実施					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
9	定性調査実践 アンケート分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
10	定性調査実践 アンケート分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
11	定性調査実践 アンケート分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
12	定性調査実践 アンケート分析					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
13	分析レポート作成					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
14	発表とフィードバック					【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
						【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
15	学習のまとめ					【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
						【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	リサーチメソッドⅡB						学期	後 期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	学習してきた定性・定量分析スキルを活用し、課題解決の目的やデータの種類に応じた分析手法を選び、課題解決の糸口を見出す力を身につける								
授業内容	課題解決の場面やデータの種類の分析手法を事例とともに学ぶ。								
学習目標	グループではなく、個人で、実データを使って分析し、結果から得られた知見をもとに提案を行うことができる。								
使用テキスト	未定								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	課題の提示	【事前】	なし			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
2	課題の調査・事例調査	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
3	課題の調査・事例調査	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
4	課題の調査・データ分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
5	課題の調査・データ分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
6	課題の調査・データ分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
7	提案仮説・コンセプトづくり	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
8	提案仮説・コンセプトづくり	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
9	提案資料作成	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
10	提案資料作成	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
11	提案資料作成	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
12	提案資料作成	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
13	提案発表練習	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく		
14	発表とフィードバック	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。		
		【事後】				【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく		
15	学習のまとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく			【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する		
		【事後】				【事前】			
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	卒業研究 IV A						学期	前期	
担当教員	小坂 太貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	3
学習目的	卒業にあたり、データマーケティングを活用した事業提案を生み出す(Dream成果発表会、地域課題解決コンテスト等応募)								
授業内容	自身で課題を見つけ、解決策となる商品やサービスの提案をおこなう。パワーポイントでの説明ならびにphotoshop/illustratorを使った広報用成果物を作成する。								
学習目標	テーマを設定し、データを収集・分析し、結果を考察し、提案内容をまとめあげ、発表するスキルを身につける。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	イントロダクション 「ビジネスプランづくりとは」								
2	テーマの選定 自分事で取り組める課題の発見								
3	テーマの選定 仮説づくり								
4	調査デザイン 調査対象の選定								
5	収集するデータの選定								
6	現地調査・事業者ヒアリング								
7	現地調査・事業者ヒアリング								
8	追加収集するデータ収集 (オープンデータ/企業データ)								
9	ユーザーアンケート								
10	ユーザーアンケート								
11	調査分析結果整理								
12	調査分析結果整理								
13	発表資料作成								
14	発表資料作成								
15	発表								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	40 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	卒業研究 IV B						学期	後 期	
担当教員	小坂 太貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	3
学習目的	卒業にあたり、データマーケティングを活用した事業提案を生み出す								
授業内容	卒業研究 II A で作成した事業案をポスターとして資料作成し、卒業成果として発表する								
学習目標	テーマを設定し、データを収集・分析し、結果を考察し、提案内容をまとめあげ、発表するスキルを身につける。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	ビジネスプラン事例研究								
2	テーマの選定 自分事で行き詰る課題の発見								
3	テーマの選定 仮説づくり								
4	調査デザイン 調査対象の選定								
5	収集するデータの選定								
6	現地調査・事業者ヒアリング								
7	現地調査・事業者ヒアリング								
8	追加収集するデータ収集（オープンデータ/企業データ）								
9	ユーザーアンケート								
10	ユーザーアンケート								
11	調査分析結果整理								
12	調査分析結果整理								
13	発表資料作成								
14	発表資料作成								
15	発表								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	40 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	フィールドワーク I A						学期	前 期	
担当教員	秋本 美衣	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	地域社会でのフィールドワークを通じて、課題を抽出する力を身につける。								
授業内容	地域内のイベントにおいて、地域住民・事業者へのインタビューを行い、コミュニケーションの手法、課題発見の方法を学ぶ。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的のためにフィールド観察やインタビューを活用する方法を理解する</li> <li>・地域関係者との関係構築とインタビューの作法を身につける</li> </ul>								
使用テキスト	都度、スライド仕様								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション①自己紹介&他個紹介(インタビュー形式)								
2	イントロダクション フィールドワーク基本の心構えとマナー								
3	インタビューの準備①(小杉地区の調べ学習)								
4	インタビューの準備②インタビュー対象の調べ学習								
5	インタビューの準備③インタビュー質問項目作成								
6	インタビューの役割分担と練習①								
7	インタビューの練習②								
8	プレスリリースの書き方・作成								
9	現地調査とインタビュー								
10	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理①								
11	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理②								
12	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理③								
13	発表①								
14	発表②								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	60 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	10 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	課題解決学習 I A						学期	後 期	
担当教員	蔵田 直美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	連携先の地域や企業の課題を解決するために、マーケティング知識とリサーチスキルを活用し、新しい集客案・販売促進案を提案する。								
授業内容	集客・販促に取り組む地域や企業の課題に対し、インタビューを通じて顧客理解を深め、起案するアイデアを実践するプロジェクト型授業を行う。								
学習目標	地域課題をテーマに学習し、ビジネスコンテスト・政策立案コンテスト等への出場を目指す。								
使用テキスト	未定								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション①自己紹介&他個紹介(インタビュー形式)								
2	イントロダクション フィールドワーク基本の心構えとマナー								
3	インタビューの準備①(小杉地区の調べ学習)								
4	インタビューの準備②インタビュー対象の調べ学習								
5	インタビューの準備③インタビュー質問項目作成								
6	インタビューの役割分担と練習①								
7	インタビューの練習②								
8	プレスリリースの書き方・作成								
9	現地調査とインタビュー								
10	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理①								
11	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理②								
12	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理③								
13	発表①								
14	発表②								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	課題解決学習ⅡA						学期	後 期	
担当教員	未定	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	連携先の地域や企業の課題を解決するために、マーケティング知識とリサーチスキル、データ分析スキルを活用し、新しい集客案・販売促進案を提案する。さらに、提案を試行し、検証まで行う。								
授業内容	連携先の地域課題・企業課題に、学生主体で取り組むプロジェクト型授業を目指す。								
学習目標	地域課題をテーマに学習し、ビジネスコンテスト・政策立案コンテスト等への出場を目指す。								
使用テキスト	なし								
週数									
1	オリエンテーション①自己紹介&他個紹介(インタビュー形式)								
2	イントロダクション フィールドワーク基本の心構えとマナー								
3	インタビューの準備①(小杉地区の調べ学習)								
4	インタビューの準備②インタビュー対象の調べ学習								
5	インタビューの準備③インタビュー質問項目作成								
6	インタビューの役割分担と練習①								
7	インタビューの練習②								
8	プレスリリースの書き方・作成								
9	現地調査とインタビュー								
10	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理①								
11	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理②								
12	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理③								
13	発表①								
14	発表②								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	課題解決学習ⅢA						学期	後 期	
担当教員	未定	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	連携先の地域や企業の課題を解決するために、マーケティング知識とリサーチスキル、データ分析スキルを活用し、新しい集客案・販売促進案を提案する。さらに、提案を試行し、検証まで行う。								
授業内容	連携先の地域課題・企業課題に、学生主体で取り組むプロジェクト型授業を目指す。								
学習目標	地域課題をテーマに学習し、ビジネスコンテスト・政策立案コンテスト等への出場を目指す。								
使用テキスト	なし								
週数									
1	オリエンテーション①自己紹介&他個紹介(インタビュー形式)								
2	イントロダクション フィールドワーク基本の心構えとマナー								
3	インタビューの準備①(小杉地区の調べ学習)								
4	インタビューの準備②インタビュー対象の調べ学習								
5	インタビューの準備③インタビュー質問項目作成								
6	インタビューの役割分担と練習①								
7	インタビューの練習②								
8	プレスリリースの書き方・作成								
9	現地調査とインタビュー								
10	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理①								
11	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理②								
12	調査のふりかえり・魅力分析・課題整理③								
13	発表①								
14	発表②								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	インターンシップⅢA						学期	後 期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	3
学習目的	インターンシップを通じて自己理解および業界・職種への理解を深める								
授業内容	インターンシップにあたり、自己の強み弱みの理解。業界、企業研究 現場の業務フローの中でインターンとして授業で身につけたマーケティングやデータ分析の知識とスキルを適用し、どのように業務へ貢献できるか挑戦する。								
学習目標	<small>・企業研究を通じて、マーケティングやデータ分析のスキルがいかせる業界や職種を理解する。          ・自己理解を深めると同時にマーケターという職種に求められるマインドやスキルを理解する。          ・机上の学習とのギャップを理解する。</small>								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	インターンシップの目的と意義 インターンシップ実施のフローと提出物等ファイル管理 □								
2	日誌・報告書の書き方 業界・企業研究：希望するインターンシップ先探し								
3	企業への電話のかけ方・メールの書き方 業界・企業研究：希望するインターンシップ先探し								
4	実習：現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習								
6	実習後の報告文のブラッシュアップ講座								
7	実習								
8	実習								
9	実習								
10	実習								
11	実習								
12	実習								
13	実習								
14	ふりかえり発表会①就職活動に向けて								
15	ふりかえり発表会②就職活動に向けて								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
<small>課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。</small>									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	インターンシップⅣ A						学期	後 期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	自由選択	単位数	3
学習目的	インターンシップを通じて自己理解および業界・職種への理解を深める								
授業内容	インターンシップにあたり、自己の強み弱みの理解。業界、企業研究 現場の業務フローの中でインターンとして授業で身につけたマーケティングやデータ分析の知識とスキルを適用し、どのように業務へ貢献できるか挑戦する。								
学習目標	<small>・企業研究を通じて、マーケティングやデータ分析のスキルがいかせる業界や職種を理解する。          ・自己理解を深めると同時にマーケターという職種に求められるマインドやスキルを理解する。          ・机上の学習とのギャップを理解する。</small>								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	インターンシップの目的と意義 インターンシップ実施のフローと提出物等ファイル管理 □								
2	日誌・報告書の書き方 業界・企業研究：希望するインターンシップ先探し								
3	企業への電話のかけ方・メールの書き方 業界・企業研究：希望するインターンシップ先探し								
4	実習：現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習								
6	実習後の報告文のブラッシュアップ講座								
7	実習								
8	実習								
9	実習								
10	実習								
11	実習								
12	実習								
13	実習								
14	ふりかえり発表会①就職活動に向けて								
15	ふりかえり発表会②就職活動に向けて								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
<small>課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。</small>									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	ICT演習 I A						学期	前 期	
担当教員	高林健二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	Excelクイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験3級問題集								
週数	授業計画								
1	Excelの基本								
2	データの入力と基本操作								
3	セルの書式設定								
4	表示形式								
5	行・列の操作								
6	ページ設定								
7	グラフの作成								
8	グラフの編集								
9	ワークシートの管理								
10	基本的な関数								
11	論理関数・日付関数								
12	データベースの基本								
13	並べ替えとフィルター								
14	テーブルの操作								
15	総合学習問題								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	授業中に取り組む課題(入力、文書作成の作成物、作成取り組み状況) 宿題課題						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	40 %	確認小テスト結果 期末テスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	Excel表計算処理技能認定試験3級								

科目名	ICT演習 I B						学期	後 期	
担当教員	高林健二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	Excelクイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験3級問題集								
週数	授業計画								
1	前期内容の復習								
2	Excel表計算処理技能認定試験3級の概要								
3	実技練習問題1								
4	実技練習問題2								
5	実技練習問題3								
6	模擬試験1								
7	模擬試験2								
8	模擬試験3								
9	模擬試験4								
10	模擬試験5								
11	模擬試験6								
12	模擬試験7								
13	検定試験対策								
14	検定試験対策								
15	期末まとめ課題								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	授業中に取り組む課題(入力、文書作成の作成物、作成取り組み状況) 宿題課題						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	40 %	確認小テスト結果 期末テスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	Excel表計算処理技能認定試験3級								

科目名	システム開発技法ⅡA						学期	前期	
担当教員	内山 陽子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	卒業製作における設計書の作り方を学び、製作システムの決定プロセスを理解する。								
授業内容	システム開発事例による知識習得と設計書作成を体験する。								
学習目標	設計書を一人で作成できるようになること。								
使用テキスト	1週間でシステム開発の基礎が学べる本								
週数	授業計画								
1	システム開発の基礎 システム開発とは何か								
2	システム開発の基礎 工程の概要とポイント(要件定義～設計)								
3	システム開発の基礎 工程の概要とポイント(開発～テスト) 運用と保守								
4	要件定義書								
5	外部設計書(身近なアプリ) 画面設計								
6	外部設計書(身近なアプリ) テーブル設計								
7	データモデリング								
8	設計(グループ演習)								
9	設計(グループ演習)								
10	設計(グループ演習)								
11	レビュー								
12	設計(個人演習)								
13	設計(個人演習)								
14	卒業課題 開発テーマ								
15	卒業課題 要件定義書 レビュー								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題の成果物(各設計書)を評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業への取り組み姿勢・忘れ物の有無を評価する						
	3. テストその他	20 %	卒業課題の要件定義書を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	Web演習ⅢA						学期	後	期
担当教員	伊東 順一	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	株式会社MINAMIにてシステムエンジニア								
学習目的	Webサイトの構築の技術のうち静的なページを作成できるようになる								
授業内容	HTML及びCSSの説明と実習								
学習目標	HTMLとCSSを用いたページを作成できるようになる HTMLとCSSの違いを理解する								
使用テキスト	これだけで基本がしっかり身につく HTML/CSS&Webデザイン1冊目の本								
週数	授業計画								
1	はじめに HTMLとCSS								
2	HTMLの基礎 インターネットでは画面サイズや持っているフォントが異なるパソコンが使われている								
3	HTMLで公開できる文章の形 見出しと段落 箇条書きや引用など								
4	HTMLの見出しや段落の表示を調整する 属性の設定 見出しや段落に名前をつける id, class								
5	HTMLの文 (Text)の書き方 日本語の書き方								
6	HTMLファイルの奥付 (ヘッダー) の書き方								
7	HTML総合演習								
8	HTMLとCSS CSSの基本 CSSを書く場所								
9	HTML中の要素を選んでCSSで操作する セレクター								
10	CSSでの色やサイズや文字列の指定方法								
11	HTMLの箱型の要素を囲ったり色を付けるボックスモデル 段落や箇条書きを操作する								
12	Fontの指定の仕方 インターネットではすべての端末が同じフォントを持っているわけではない テキストの表示方法を定める								
13	ブログサイトのCSS フレックスボックスレイアウト 「ページ全体」、「ヘッダ」、「メインエリア」								
14	ブログサイトのCSS 「サイドバー」、「記事エリア」、「フッター」								
15	HTMLとCSSの総合演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題達成率で評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	出席と授業態度						
	3. テストその他	20 %	授業中に行う質問への回答で評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	-								

科目名	Web演習ⅣA						学期	前期	
担当教員	伊東 順一	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
関係実務等	株式会社MINAMIにてシステムエンジニア								
学習目的	JavaScriptを使った動的なページを作成できるようになる								
授業内容	JavaScriptの説明と実習								
学習目標	HTML&CSSとJavaScriptの使い方を理解する								
使用テキスト	1冊ですべて身につくJavaScript入門講座								
週数	授業計画								
1	最初におこう！JavaScriptでできること JavaScriptに触れてみよう！								
2	JavaScriptの基本を学ぼう！（その1）								
3	JavaScriptの基本を学ぼう！（その2）								
4	イベントで操作しよう！（その1）								
5	イベントで操作しよう！（その2）								
6	複数のデータを使ってみよう！（その1）								
7	複数のデータを使ってみよう！（その2）								
8	アニメーションを加えよう！（その1）								
9	アニメーションを加えよう！（その2）								
10	Webページを作ってみよう！（その1）								
11	Webページを作ってみよう！（その2）								
12	Webページを作ってみよう！（その3）								
13	JavaScriptの基本文法								
14	JavaScriptのデバッグ方法								
15	総合演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50%	課題達成率で評価する						
	2. 授業姿勢	30%	出席と授業態度						
	3. テストその他	20%	授業中に行う質問への回答で評価する						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	アルゴリズムとデータ構造ⅣA						学期	前	期	期	
担当教員	中井 兵馬	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	4		
学習目的	プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考について学習する。										
授業内容	プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を学ぶ。										
学習目標	論理的な思考の訓練を行い、自分の考えをアルゴリズムで表現できることを理解する。										
使用テキスト	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造、基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミングトレーニング問題集、基本情報技術者科目A&科目B 対策問題集										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	オリエンテーション 第1章 アルゴリズム入門					【事前】	P4～P10を読む。				
						【事後】	小テストに向けた復習を行う。				
2	第2章 流れ図の基本パターン 第3章 疑似言語の基本パターン					【事前】	P12～P34, P36～P49を読む。				
						【事後】	P50～P51の練習問題に取り組む。				
3	中間テスト1(第1章～第3章)					【事前】	テスト勉強を行う。				
						【事後】	必要に応じて追試を行う。				
4	第4章 計算のアルゴリズム					【事前】	P54～P60, P61～P66を読む。				
						【事後】	P67～P72の練習問題に取り組む。				
5	第5章 手続・関数					【事前】	P74～P87を読む。				
						【事後】	P88～P90の練習問題に取り組む。				
6	第6章 配列の操作					【事前】	P92～P101を読む。				
						【事後】	小テストに向けた復習を行う。				
7	第6章 配列の操作					【事前】	P102～P108を読む。				
						【事後】	P109～P112の練習問題に取り組む。				
8	中間テスト2(第4章～第6章)					【事前】	テスト勉強を行う。				
						【事後】	必要に応じて追試を行う。				
9	第7章 探索のアルゴリズム					【事前】	P114～P119,P120～P122を読む。				
						【事後】	小テストに向けた復習を行う。				
10	第7章 探索のアルゴリズム					【事前】	P123～P129,P130～P132を読む。				
						【事後】	P133～P136の練習問題に取り組む。				
11	第8章 整列のアルゴリズム					【事前】	P138～P151, P152～P157を読む。				
						【事後】	小テストに向けた復習を行う。				
12	第8章 整列のアルゴリズム					【事前】	P158～P160, P161～P162を読む。				
						【事後】	小テストに向けた復習を行う。				
13	第8章 整列のアルゴリズム					【事前】	P163～P167,P168～P172を読む。				
						【事後】	小テストに向けた復習を行う。				
14	第8章 整列のアルゴリズム					【事前】	P173～P178の練習問題に取り組む。				
						【事後】	期末テストに向けた復習を行う。				
15	期末テスト(第7章～第8章)					【事前】	テスト勉強を行う。				
						【事後】	必要に応じて追試を行う。				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %		授業中の演習問題、課題の状況 練習問題等の課題に対する取り組み								
	2. 授業姿勢 30 %		出席状況 授業に対する積極性(発表回数、質問回数、質問の内容)								
	3. テストその他 40 %		前回授業内容の小テスト 中間テスト 期末テスト 追試								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他	基本情報処理技術者試験科目B										

科目名	アルゴリズムとデータ構造IVB						学期	後 期	
担当教員	中井 兵馬	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	4
学習目的	プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考について学習する。								
授業内容	プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を学ぶ。								
学習目標	論理的な思考の訓練を行い、自分の考えをアルゴリズムで表現できることを理解する。								
使用テキスト	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造、基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミングトレーニング問題集、基本情報技術者科目A&科目B 対策問題集								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第9章 オブジェクト指向プログラミングの基本パターン	【事前】	P180～P184,P185～186を読む。						
		【事後】	P187～P190の練習問題に取り組む。						
2	第10章 データ構造	【事前】	P192～P201, P202～P205を読む。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
3	第10章 データ構造	【事前】	P206～P212, P213～P217を読む。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
4	第10章 データ構造	【事前】	P218～P221, P222～P226を読む。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
5	第10章 データ構造	【事前】	P227～P233を読む。 P234～P238の練習問題に取り組む。						
		【事後】	中間テストに向けた復習を行う。						
6	中間テスト1(第9章～第10章)	【事前】	テスト勉強を行う。						
		【事後】	必要に応じて追試を行う。						
7	第11章 実践アルゴリズム	【事前】	P240～P246,P247～P255を読む。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
8	第11章 実践アルゴリズム	【事前】	P256～P262,P263～P265を読む。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
9	第11章 実践アルゴリズム	【事前】	P266～P275を読む。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
10	模擬試験問題解説担当決め 模擬試験問題解説づくり	【事前】	特になし						
		【事後】	解説づくりを完了させる。						
11	模擬試験問題1 相互解説	【事前】	模擬試験問題1を解く。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
12	模擬試験問題2 相互解説	【事前】	模擬試験問題2を解く。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
13	模擬試験問題3 相互解説	【事前】	模擬試験問題3を解く。						
		【事後】	小テストに向けた復習を行う。						
14	模擬試験問題4 相互解説	【事前】	模擬試験問題4を解く。						
		【事後】	期末テストに向けた復習を行う。						
15	期末テスト(11章、模擬試験問題)	【事前】	テスト勉強を行う。						
		【事後】	必要に応じて追試を行う。						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30 %	授業中の演習問題、課題の状況 練習問題等の課題に対する取り組み							
	2. 授業姿勢 30 %	出席状況 授業に対する積極性(発表回数、質問回数、質問の内容)							
	3. テストその他 40 %	前回授業内容の小テスト 中間テスト 期末テスト 追試							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	基本情報処理技術者試験科目B								

科目名	総合演習 I A						学期	前期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント①出店準備								
3	出店準備								
4	実施 5/3								
5	実施 5/4								
6	片付け・ふりかえり								
7	イベント②出店企画								
8	出店企画								
9	出店準備								
10	出店準備								
11	実施								
12	実施								
13	実施								
14	片付け・ふりかえり								
15	全体ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習 I B						学期	後 期	
担当教員	三宅 可倫	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント企画								
3	イベント企画(コスト計算)								
4	イベント準備(プロジェクト管理)								
5	イベント準備(予算管理)								
6	イベント準備(広報計画)								
7	イベント準備(買い出し)								
8	イベント準備(試行・シミュレーション)								
9	学園祭 学科企画・準備・参加								
10	学園祭 学科企画・準備・参加								
11	精算								
12	イベント実施報告発信								
13	イベント実施報告発信								
14	就職集会(レポート提出)								
15	ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習ⅡA						学期	前期	
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント①出店準備								
3	出店準備								
4	実施 5/3								
5	実施 5/4								
6	片付け・ふりかえり								
7	イベント②出店企画								
8	出店企画								
9	出店準備								
10	出店準備								
11	実施								
12	実施								
13	実施								
14	片付け・ふりかえり								
15	全体ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習ⅡB						学期	後	期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント企画								
3	イベント企画(コスト計算)								
4	イベント準備(プロジェクト管理)								
5	イベント準備(予算管理)								
6	イベント準備(広報計画)								
7	イベント準備(買い出し)								
8	イベント準備(試行・シミュレーション)								
9	学園祭 学科企画・準備・参加								
10	学園祭 学科企画・準備・参加								
11	精算								
12	イベント実施報告発信								
13	イベント実施報告発信								
14	就職集会(レポート提出)								
15	ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習ⅢA						学期	前期	
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント①出店準備								
3	出店準備								
4	実施 5/3								
5	実施 5/4								
6	片付け・ふりかえり								
7	イベント②出店企画								
8	出店企画								
9	出店準備								
10	出店準備								
11	実施								
12	実施								
13	実施								
14	片付け・ふりかえり								
15	全体ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習ⅢB						学期	後	期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント企画								
3	イベント企画(コスト計算)								
4	イベント準備(プロジェクト管理)								
5	イベント準備(予算管理)								
6	イベント準備(広報計画)								
7	イベント準備(買い出し)								
8	イベント準備(試行・シミュレーション)								
9	学園祭 学科企画・準備・参加								
10	学園祭 学科企画・準備・参加								
11	精算								
12	イベント実施報告発信								
13	イベント実施報告発信								
14	就職集会(レポート提出)								
15	ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習Ⅳ A						学期	前期	
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント①出店準備								
3	出店準備								
4	実施 5/3								
5	実施 5/4								
6	片付け・ふりかえり								
7	イベント②出店企画								
8	出店企画								
9	出店準備								
10	出店準備								
11	実施								
12	実施								
13	実施								
14	片付け・ふりかえり								
15	全体ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	総合演習ⅣB						学期	後 期	
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科や校内、地域でのさまざまな活動を行う								
授業内容	学科イベント、オープンキャンパス、学外イベントへの準備と参加。								
学習目標	イベントの企画推進、プレゼンテーション等の機会を通じて、企画構成力、表現力、人を巻き込む力を高める。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	チーム作り								
2	イベント①出店準備								
3	出店準備								
4	実施 5/3								
5	実施 5/4								
6	片付け・ふりかえり								
7	イベント②出店企画								
8	出店企画								
9	出店準備								
10	出店準備								
11	実施								
12	実施								
13	実施								
14	片付け・ふりかえり								
15	全体ふりかえり								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	20 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	表現力 I A						学期	前 期	
担当教員	長谷川 万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	学習を通して「人とのかれあいを体験し、より良いコミュニケーションを築く。社会において活用できるコミュニケーション能力やソーシャルスキルを身に付ける。」「人と対話できる」「チームで協働できる」「相手に伝わる表現力を持ち、人前で堂々と発表できる」「社会において自分らしさを発揮しつつ、より良い集団づくりに貢献できること」を目指す。								
授業内容	コミュニケーショントレーニングや演劇的手法を取り入れたワーク(応用インプロ、シアターゲーム)、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンター等のグループワークを通して、コミュニケーションを実践的に楽しく学ぶ。多様な人とのふれあいの中で、自己を知り他者を理解する自己発見の場とする。								
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心等、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体を育てる。人と関わり合うことの楽しさを学び、自らのコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力等、人前でも堂々と発表できるような素地をつくる。								
使用テキスト	テキストなし。適宜、プリントを配布。								
週数	授業計画								
1	イントロダクション～授業内容の説明 自己分析と目標設定								
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング								
3	雑談カトトレーニング								
4	対話と傾聴を学ぶ								
5	相手に伝わる話し方を学ぶ								
6	個人発表 SHOW & TELL								
7	コンテンポラリーダンス～言葉のいらぬコミュニケーションを体験する								
8	インプロ(即興演劇)～「Yes、And」思考を体験する								
9	インプロ(即興演劇)～チーム全員でゼロから創造する								
10	ディスカッション								
11	ディベート								
12	スピーチ①								
13	スピーチ②								
14	個人発表								
15	まとめと振り返り								
面 基 準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	40 %	授業内での課題(実技やワーク)に対して、①積極的、意欲的な参加 ②失敗を恐れず前向きに挑戦する姿勢 ③チームに協力する姿勢 以上						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・授業態度 ③提出物 以上の観点から総合的に評価する。						
	3. テストその他	30 %	個人発表、グループ発表等。①発表の出来 ②そこに至るまでの過程 ③取り組み姿勢 以上の観点から総合的に評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施	授業の進捗状況、理解度を考慮したうえで、授業の実施順、内容を変更する場合あり。								

科目名	就職支援 I A						学期	前 期	
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	働くことの意義と重要性について考える。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について(グループワーク)								
2	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について (学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
3	働くことの責任と意義(グループワーク)								
4	【意識は行動の原点】 仕事の基本となる8つの意識について学ぶ(グループワーク)								
5	会社の仕事の決まりやしぐみを理解する(グループワーク)								
6	人間関係とコミュニケーション(グループワーク) 非認知能力の振り返り自己分析①(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
7	ビジネスマナーの基本								
8	ビジネス文書「報告書の書き方」								
9	【礼儀としての身だしなみ】スーツ着こなしセミナー								
10	インターンシップの事前授業								
11	仕事の進め方(5W2H)(PDCA)と報告・連絡・相談								
12	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイントを知る。								
13	業界研究、企業研究、インターンシップ先検討								
14	インターンシップに向けての自己分析(エントリーシート作成)								
15	インターンシップに向けての目標設定								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	なし								

科目名	就職支援ⅡA						学期	前期	
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	2年次向け就職活動の進め方								
2	インターンシップ進捗管理①								
3	インターンシップ指導・進捗管理②								
4	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
5	面接練習①(入退室・挨拶・座り方・歩き方・バッグの扱い)								
6	面接練習②(自己PR)								
7	面接練習③(力を入れた学外活動)								
8	面接練習③(志望動機)								
9	面接練習④(グループディスカッション)								
10	面接練習⑤(グループディスカッション)								
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断								
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について								
13	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
14	個別面談指導								
15	個別面談指導								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	就職支援ⅡB						学期	後	期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る								
2	インターンシップの振り返り								
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	業界・職業研究								
5	企業研究								
6	自己分析講座								
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座								
8	履歴書作成の実践①								
9	履歴書作成の実践②								
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)								
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断								
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について								
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)								
14	面接対策講座								
15	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	なし								

科目名	就職支援ⅢA						学期	前期	
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	社会で活躍するための強い人材になる。								
授業内容	内定後の社会人ビジネスマナー講習やグループワークによるリーダーシップ、メンバーシップの実践								
学習目標	社会に出てから活躍するためのビジネスマナーや仕事の考え方・基本姿勢を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】1分間スピーチ								
2	社会人・職業人としての心構え								
3	非認知能力の振り返り自己分析(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	人間関係の築き方について								
5	社会人講話、地域連携								
6	社会人講話、地域連携								
7	社会人講話、地域連携								
8	就業規則と労働法: ワークルールについて学ぶ								
9	1分間スピーチ								
10	卒業後の自分								
11	社会人になる為のビジネスマナー								
12	社会人になる為のビジネスマナー								
13	社会人になる為のビジネスマナー								
14	社会人になる為のビジネスマナー								
15	非認知能力の振り返り自己分析(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題の成果物を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業への取り組み姿勢・忘れ物の有無を評価する。						
	3. テストその他	30 %	期末課題を評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援ⅢB						学期	後	期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	社会で活躍するための強い人材になる。								
授業内容	内定後の社会人ビジネスマナー講習やグループワークによるリーダーシップ、メンバーシップの実践								
学習目標	社会に出てから活躍するためのビジネスマナーや仕事の考え方・基本姿勢を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 「目指す職業」「卒業後の自分」について自己分析する(ライフプラン)								
2	模擬面接①								
3	模擬面接②								
4	会社は自分のキャリア形成の場、自分のビジネスキャリアは自分で作る								
5	ビジネス会話の基本								
6	非認知能力の振り返り自己分析(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
7	不満やクレームを防ぐ方法、再発防止について(グループワーク)								
8	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ① (グループワーク)								
9	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ② (グループワーク)								
10	【マネジメントの基本】 PDCAサイクル、目標から計画を立てる								
11	【マネジメントの基本】 計画の重要性について学び採用試験後の振り返りと対策の重要性について知る								
12	採用試験の振り返り								
13	採用試験の振り返り								
14	企業説明会								
15	企業説明会								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題の成果物を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業への取り組み姿勢・忘れ物の有無を評価する。						
	3. テストその他	30 %	期末課題を評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援IVA							学期	前期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	社会で活躍するための強い人材になる。								
授業内容	内定後の社会人ビジネスマナー講習やグループワークによるリーダーシップ、メンバーシップの実践								
学習目標	社会に出てから活躍するためのビジネスマナーや仕事の考え方・基本姿勢を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】1分間スピーチ								
2	社会人・職業人としての心構え								
3	非認知能力の振り返り自己分析(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	人間関係の築き方について								
5	社会人講話、地域連携								
6	社会人講話、地域連携								
7	社会人講話、地域連携								
8	就業規則と労働法: ワークルールについて学ぶ								
9	1分間スピーチ								
10	卒業後の自分								
11	社会人になる為のビジネスマナー								
12	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める①								
13	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める②								
14	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める③								
15	非認知能力の振り返り自己分析⑥(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題の成果物を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業への取り組み姿勢・忘れ物の有無を評価する。						
	3. テストその他	30 %	期末課題を評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援IVB						学期	後	期
担当教員	AD	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	社会で活躍するための強い人材になる。								
授業内容	内定後の社会人ビジネスマナー講習やグループワークによるリーダーシップ、メンバーシップの実践								
学習目標	社会に出てから活躍するためのビジネスマナーや仕事の考え方・基本姿勢を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】1分間スピーチ								
2	社会人・職業人としての心構え								
3	非認知能力の振り返り自己分析(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	人間関係の築き方について								
5	社会人講話、地域連携								
6	社会人講話、地域連携								
7	社会人講話、地域連携								
8	就業規則と労働法:ワークルールについて学ぶ								
9	1分間スピーチ								
10	卒業後の自分								
11	社会人になる為のビジネスマナー								
12	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める①								
13	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める②								
14	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める③								
15	非認知能力の振り返り自己分析⑥(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題の成果物を評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業への取り組み姿勢・忘れ物の有無を評価する。						
	3. テストその他	30 %	期末課題を評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								